

お客様との関わり

品質保証

「お客様第一」「品質第一」のクルマづくりを実践し、お客様の期待に応える「世界一の魅力あるコンパクト車」をお届けすることを目指しております。そのために、クルマづくりに携わる一人ひとりが品質最優先の意識を持ち改善に努め、全社で連携してお客様の安心と安全、満足度の向上に努めております。

「お客様第一」の風土づくり

全社員への「お客様第一」「品質第一」の意識浸透の仕組みとして、品質教育を実施しています。また、トヨタ自動車（株）と連携した品質講話会、品質事例展示会等を定期的に行い、品質に対する問題意識を共有しながら各業務に取り組んでいます。

● 品質教育

毎月11日を『品質教育の日』と定め、全工程員が参加し、品質知識の向上を図るとともに、やりにくい作業の吸い上げと改善を図っています。



品質知識を学ぶ

（工程員の声）
お客様へ高品質な車を提供するため、標準作業を必ず守ります。
また、やりにくい作業があれば、すぐ上司へ報告します。



● 品質講話会

お客様の生の声を聴き、品質意識の向上と業務の改善につなげています。



お客様と直接対応している、トヨタ自動車（株）の部署より講師を招き、お客様の声を紹介していただいています。



● 品質事例展示会

品質向上活動事例を全社で共有・横展し、高品質なクルマづくりに反映しています



工場展示会の様子



総合センター展示会の様子



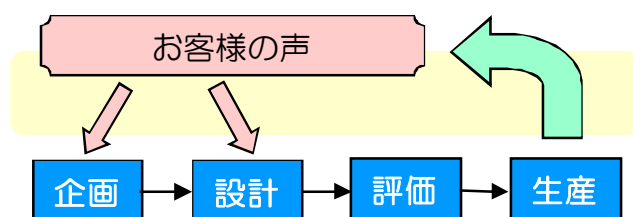
お客様との関わり

人に優しい製品づくり

福祉車両、福祉機器の開発

- 「すべてのお客様に快適な移動の自由を」「お客様の幸せな暮らしのために少しでもお役に立つこと」これを合言葉に、電動車いすや福祉車両などを開発しております。
- 福祉施設や展示会でお伺いしたお客様の声を、製品開発に活かしております。

お客様の声を製品開発へ反映



当社で生産している福祉車両・機器

	使用目的	仕様
福祉車両・機器	助手席への移乗補助	回転シート／昇降回転シート
	後席への移乗補助	回転シート／昇降回転シート
	車いすのまま乗降	リヤスロープ
	車いすを収納	車いす収納装置
	歩行補助	4WD電動車いす

● お客様の声を収集



【バリアフリー2017（大阪）】
スライド車いす収納装置

● 商品の説明



【ウェルフェア2017（名古屋）】
スライド車いす収納装置



【国際福祉機器展2017（東京）】
シエンタ車いす仕様車（スロープタイプ）



【体験試乗（福島あづま運動総合公園）】
4WD電動車いす「Patrafour」

社会性報告

社会との関わり

社会貢献活動

地域社会とのコミュニケーションや地域における環境保全活動を通じて、地域社会から信頼される企業を目指し取り組んでおります。

工場見学の受入れ

小学5年生の社会科見学や行政・各種団体等の工場見学を積極的に受入れています。2017年度は本社・宮城大衡、東富士、岩手の3工場合わせて約53,000人のお客様にご来工いただきました。①詳しくはこちら



結[YUI]ギャラリー

地域の皆様と当社を結びつける空間として、施設名称を「結ギャラリー」と命名。当社の「ものづくり」を目で見て触れて体感いただける展示内容となっています。①詳しくはこちら



本社・宮城大衡 結[YUI]ギャラリー



岩手 結[YUI]ギャラリー

千年希望の丘 植樹活動への参加（宮城県岩沼市）



地域イベントへの協力



東北こども博への出展（仙台大学）



いしのまき復興マラソンへの
車両協賛



東北・みやぎ復興マラソンへの
イベント協力

社会性報告

社会との関わり

■ 地元支援活動

東北にある企業として沿岸地域（主に岩手県）の支援を2011年より継続しており、仮設住宅からの引っ越し作業や家屋の修繕・清掃等のお手伝いを行いました。

大槌町・釜石市・陸前高田市・大船渡市 を中心に支援活動を継続的に実施



地元の支援活動に参加した従業員



社会性報告

社会との関わり

南三陸町復興支援活動

農業支援・漁業支援を中心に、毎月多くの従業員が活動しています。これまでに延べ772人の従業員が参加しました。



南三陸町で農業支援活動（ネギ畑のうね上げ作業）



漁業支援活動



科学のびっくり箱！なぜなにレクチャーへの参画（山形県山形市）

山形県との共催で工作教室を開催。小学校高学年を対象に、トヨタ自動車技術会講師による「科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー」を実施しました。



トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンコンサートへ高校生を招待

トヨタ自動車（株）は復興支援の一環として盛岡にてコンサートを開催しました。当社もこれに協力し、高校生（吹奏楽部員）延べ1,066人を招待しました。また、演奏者が地元小学校や中学校を訪問し、ふれあいコンサートを開催しました。



コンサートへの招待校（代表者）



ふれあいコンサート 演奏の様子



コントラバスの音出しに挑戦

社会性報告

社会との関わり

交通安全への取り組み

自動車の製造に携わる企業として地域の皆様や行政の方々と連携を図りながら、社内外において、積極的に交通事故防止活動を推進しております。

事業所周辺での交通安全呼びかけ



地域と企業一体の取り組み

ゆうゆう保育園の取り組み

地域の就業環境向上と雇用促進の一助となることを期待し、近隣企業従業員や地域住民にもご利用いただける企業内保育所（みやぎ、いわて）を県・町・村との共同検討により開設しました。[⑤ 詳しくはこちら](#)



保育園外観



保育の様子

社会性報告

仕入先様との関わり

「トヨタ基本理念」、「調達基本方針」に基づきオープンでフェアな取引を推進し、仕入先の皆様との相互信頼関係による、共存共栄を目指した調達活動を推進しています。また、グリーン調達ガイドラインに基づく取組みを仕入先の皆様とともに実践し、環境保全活動に努めています。

【トヨタ基本理念より抜粋】

- ・内外の法およびその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を通じて、国際社会から信頼される企業市民を目指す
- ・開かれた取引関係を基本に、互いに研究と創造に努め、長期安定的な成長と共存共栄を目指す

【調達基本方針】

- ・オープンドアポリシーに基づく公正な競争
- ・相互信頼に基づく相互繁栄
- ・良き企業市民を目指した現地化の推進

仕入先様との活動

2012年に東北現調化センターを設立し、1次仕入先の皆様と連携した分解展示会や部品説明会を開催しました。また、生産準備や品質向上活動等を通じて現場ベースのコミュニケーションを図り、仕入先様との繋がりを強くしてきました。当社の取組みは毎年開催する仕入先総会で説明し、ご理解とご協力をいただいています。



2018年度 仕入先総会

TMEJ協力会の活動

TMEJ協力会は下記2点を目的に2013年3月に発足し、活動を推進しています。

- 当社の方向性と当社・協力会双方の課題認識を共有化する。
- 当社の使命の一つである、東北に根差した生産活動と復興に貢献するため、東北地場企業とのネットワークづくりと相互研鑽を図る。

実務者勉強会の開催

2017年11月、会員各社の部長クラスを対象として、当社岩手工場、並びに岩手県の伝統工芸品である南部鉄器製造工場の見学を行い、「からくり」や「順序生産／順序納入」の取組み、「東北のものづくり」について学びました。



2017年度 実務者勉強会

定期総会の開催

2018年3月、当社仕入先総会と合同で開催し、会員各社の代表者出席のもと、事業計画や予算、役員体制の審議が行われました。



2018年度 定期総会

仕入先様との関わり

東北部会の活動

東北部会はTMEJ協会の部会活動として、下記2点を目的に発足しました。

- 東北地場企業と当社のネットワークづくりにより、課題認識を共有する。
- 相互研鑽でレベルアップを図り、東北のものづくり競争力を向上させる。

グループ活動の推進

東北部会内でグループを編成し、「安全」「品質」「現場改善」をテーマとしてQC手法を用いた改善活動に取り組んでいます。2017年度はQCサークル本部より、「体験事例優秀賞」を受賞するなど、着実にレベルアップが図られています。



グループ活動の狙いと進め方



2017年度 グループ活動 成果報告会



仕入先様と改善事例の共有

東北における競争力強化

当社生産ライン（車両）の着工順序情報を用いて、仕入先様（部品）の生産を同期させる「順序生産／順序納入活動」を2013年より進めています。この活動では徹底した在庫低減、スペース低減などの効果を狙い、仕入先の皆様と当社の双方に嬉しさがある姿を目指しています。今後も「東北ならではのものづくり」を極め、仕入先の皆様とともに競争力強化を進めていきます。



仕入先様との順序生産／順序納入活動

従業員との関わり

安全

「安全・健康は、全てにおいて優先し取組む」「何人たりとも重大災害を発生させない」の考えの下、全社を挙げて安全活動に取り組んでおります。

安全の取組み

● 取組みの考え方

災害ゼロに向けて「安全な人づくり」と「安全な場づくり」を推進しています。

「安全な人づくり」の目指す姿

皆が当事者意識と自分の身は自分で守る意識を持ち、ルール遵守と安全行動を常に率先垂範

「安全な場づくり」の目指す姿

5S※1が整い、災害や不安全行動の原因を作らず、安心して気持ちよく働ける職場環境

※1 5Sとは 整理・整頓・清掃・清潔・躰をいう

「安全優良職長厚生労働大臣顕彰」を受賞 (2018年1月15日)



厚生労働省で定める職長経験や安全成績等の基準を満たし、活発な安全活動を推進している監督者の中から候補者の中から毎年選考・推薦

● 安全文化の構築に向けて

毎年1月13日の「安全を誓う日」をはじめ、安全文化の構築を日々進めています。



各職場で管理者から過去災害を伝承 朝礼で作業前KYや日めくり安全唱和 各職場合同で作業観察・意見交換

● 安全な人づくり

上位職者の率先垂範の下、一人ひとりのルール遵守と安全行動を進めています。



災害の怖さを学ぶ疑似体験教育

● 安全な場づくり

全員参加の5S活動や快適な作業環境づくりを進めています。



職制から工程員まで全員で5S

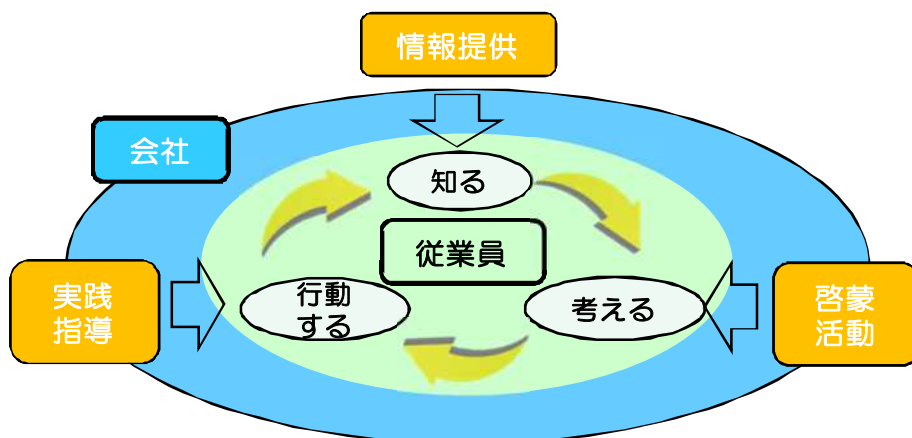
従業員との関わり

健康

心と体の健康づくりの取組み

健康管理活動

従業員一人ひとりが健康づくりを実践していけるよう、心身の健康維持・増進につながる施策を推進しております。



- BM I 低減活動^{※1}
運動習慣づけ推進活動による各職場の取組み

※1 〔体格指数〕 体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)



卓球大会



ソフトボール大会



家族で楽しめる体力測定会
(駅伝大会での健康ブース)

- 喫煙率低減活動
禁煙達成に向けた環境作りを推進



禁煙講話会



禁煙デーの声かけ



世界禁煙デーイベント
(健康宣言・肺年齢測定)

従業員との関わり

人材育成

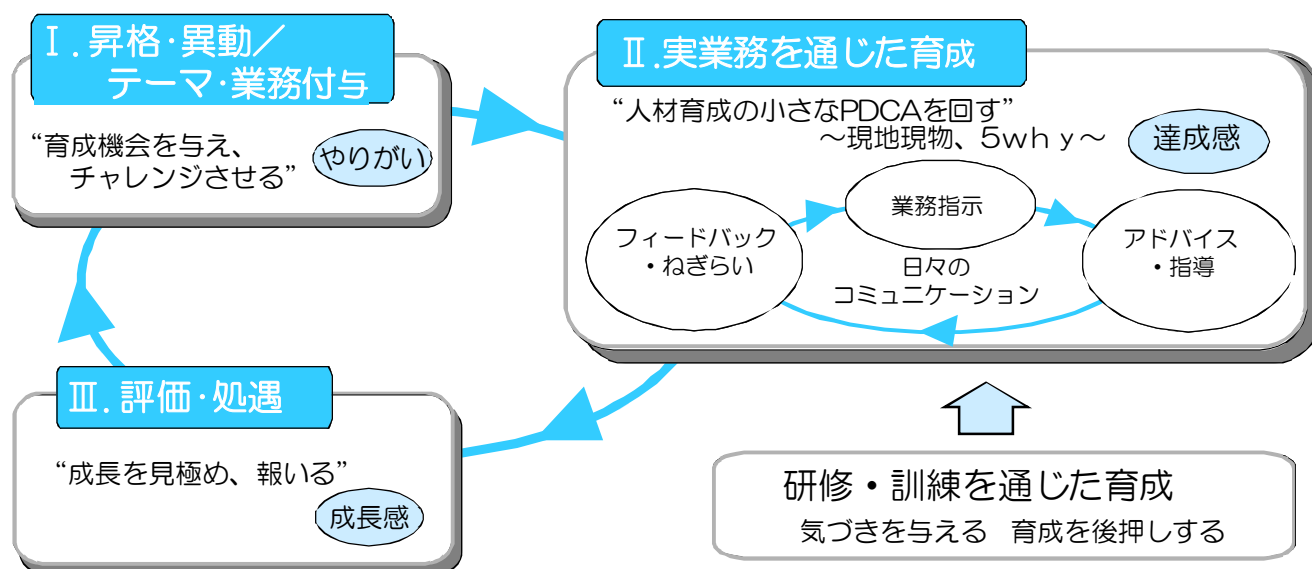
私達は「東北を基盤に 世界一の競争力を持つ 魅力あるコンパクト車をつくる」ことを目指すために、「人が育つ・人を育てる」取組みを進めております。

人材育成の仕組み

人材育成の基本的な考え方は職能資格制度を中心に、人事サイクルをしっかりと回すことです。これを補完する仕組みとして、各種研修制度があります。職場での業務を通じ、上司が部下を一貫性を持って継続的に育成しています。

＜目指す人材像＞

- ・チャレンジ精神に溢れ、自ら育つ、人を育てる人材
- ・現地現物を実践し、知恵を絞りながら改善し続ける人材



● 研修・訓練を通じた育成

1) 新入社員教育

職場配属前に「学生気分の払拭」「社員としての自覚・責任感の醸成」及び「社員としての基礎知識・能力」を習得します。各講師の講義、技能指導に加えて、先輩社員がアドバイザーとなり、団体訓練を通じてルール遵守やチームワークの大切さを学び、また安全運転講習などを行っています。



チームワーク醸成の訓練

2) 特別研修

成長にあわせた研修として、問題解決や人間関係構築（リーダーシップ、チームワーク）のカリキュラムを通じて、現在の資格に求められる能力の確認と、上位資格の役割認識と能力を習得しています。



特別研修の様子

従業員との関わり

3) 管理監督者教育

職場力強化へ向け、人材育成を柱とした職場運営に必要な知識・スキルを習得しています。

からくり改善の
実践教育（組長）



4) 専門技能教育

各職場、各資格層に必要な知識・技能を計画的に教育、育成します。

「専門技能」とは、作業習熟に加えて作業の必要性を理解し、以下の幅広い意味での技能を習得します。

- 問題を解決する力
- 仕組みを作る力
- 指導をする力

基礎知識の
座学教育
(一般工程員)



ボルト締結
技能教育
(一般工程員)



働き方の多様性

多様な人材が生き生きと働ける環境を作り出すことを目指し、当社では「女性の活躍支援」「定年後の再雇用制度」「障がい者の雇用促進」などに積極的に取り組んでいます。

1) 女性社員の活躍支援

育児休職、短時間勤務制度等の整備や企業内保育所の開設により、女性が活躍できる環境の整備を進めてきました。今後は、女性社員の管理職への積極登用や、工場の生産現場で働く女性社員の育成にも積極的に取り組んでいきます。



生産現場で活躍する女性管理職

2) 定年後の再雇用制度

フルタイム・半日の勤務時間の選択制、働きぶりに応じた処遇等に加え、ライフプラン教育を進めるなど、安心して65歳まで働けるよう取り組んでいます。



定年後も後進育成で活躍

3) 障がい者の雇用促進

障がい者を積極的に雇用しており、定着に繋がるよう、職場体験の受入も広く実施しています。

職場体験の様子
(採用前)



従業員との関わり

スポーツ活動支援

従業員が一丸となって応援することを通じ、職場の一体感醸成やコミュニケーション向上を目的に、3つのスポーツクラブ活動に力を入れております。🔗 [詳しくはこちら](#)

スポーツクラブ活動

セーリングチーム

1988年ソウル五輪を初めとして、2016年リオデジャネイロ五輪迄、7大会連続出場しています。

現在はRS:X級と470級の2種目で2020年東京五輪出場を目指して活動しています。また、2017年アジア選手権（11月、台湾）では、RS:X級の富澤選手が3位を、2018年ワールドカップシリーズ最終戦（6月、フランス）では、470級の岡田選手が銅メダルを獲得しました。



アジア選手権3位の
RS:X級 富澤選手



ワールドカップ最終戦
銅メダル獲得の470級
岡田選手（写真右）



ワールドカップレースの様子

ハンドボール部

2012年度より国内最高峰の日本リーグに参戦し、日本一を目指して活動しています。2017年10月の国民体育大会では、宮城県代表として3位を獲得。12月の日本ハンドボール選手権大会においても3位の成績をおさめました。



日本リーグ優勝を目指す



硬式野球部

「仕事も野球も100%」をスローガンに活動し、「第89回都市対抗野球2次予選東北大会」で優勝し、東北の第1代表として初の全国大会に出場。



全国大会出場を決めた野球部



先制適時打を放つ
羽田野選手



2次予選優勝の瞬間

社会性報告

従業員との関わり

社内イベント

従業員同士の一体感の醸成、コミュニケーション活性化を目的に様々な社内イベントを開催しており、イベントを通じて親睦も深まり、心身ともにリフレッシュしています。

TMEJ※フェスティバル

※ TOYOTA MOTOR EAST JAPAN,INC.の略
トヨタ自動車東日本（株）の英文名

宮城、岩手、東富士（静岡）の各地区でフェスティバルを毎年開催し、従業員とご家族、グループ会社、地域住民の皆様と親睦を深めています。2017年度は各地区合わせて、約5,000人が来場され、大いに盛り上がりました。



岩手地区
フェスティバル

社内駅伝大会

社内駅伝大会を毎年開催しています。2017年度は従業員とご家族合わせて、過去最高の約3,500人が参加しました。



職場代表として優勝を目指す



各チームを代表し選手宣誓



職場の仲間からの声援

各地区スポーツイベント

各地区でイベントを開催しています。職場対抗の運動会やソフトボール大会、ヨット体験会などを通じて、従業員のコミュニケーションを図っています。



宮城地区のソフトボール大会



ヨット体験会の参加者



東富士地区の大運動会



岩手地区の大運動会



宮城地区のヨット体験会

【読者の皆様へ】

ご意見、ご要望をお聞かせいただきたく、こちらのメールアドレスに
よろしくお願い致します。

ci_ankan@toyota-ej.co.jp

発行部署 トヨタ自動車東日本株式会社 PE・環境室
〒981-3609 宮城県黒川郡大衡村中央平1番地

お問い合わせ先 PE・環境室 環境グループ
TEL 022-765-6172
FAX 022-765-6308

発行 2018年7月



当社の環境ロゴマーク